

事務事業名	筑波高原キャンプ場管理運営事業	事務事業No.	40302000562	所属課	商工観光課
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
昭和41年5月から事業を開始している。 キャンプ場の形態は以前はオートキャンプが主流となっていたため、利用者は減少傾向にあったが、最近のキャンプブーム（特にソロキャンプ）により、利用者は増加傾向にある。					
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
有効活用を期待する声がある。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
改革改善を行う	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 桜川市第2次総合計画における「キャンプ場を活用した滞在型観光の推進」に基づいた事業である。
有効性	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 本市の観光資源である筑波山中腹にキャンプ場を整備することで、市への観光誘客を促進する事業のため、妥当である。
効率性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 老朽化施設の使用を休止しテントサイトのみの運営を行っている。今後は利用者の意向など踏まえつつ、キャンプや登山者等のアウトドアの拠点施設としてモンベル監修のもと施設整備を行っていくことから、向上余地がある。
公平性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 事業を廃止した場合には、国有林野返却に伴う原状回復などの費用が発生する。また、事業の廃止により滞在型観光の推進が図られなくなる。
公平性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名)
	<input type="checkbox"/> 余地がない 現在統合できる可能性のある事業はない。
公平性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)
	<input type="checkbox"/> 削減余地がない 施設管理はシルバー人材センターに委託しており、必要最低限の費用であり、管理面での削減の余地はない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 市民、市民以外でも利用可能な施設であり、利用者には市条例で定めた料金を徴収しているため、公正・公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括（振り返り、反省点）																			
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇨	ネット予約を導入にしたことにより、利用者の利便性の向上及び職員の事務負担の軽減ができた。またこれまで使用していなかった4段目のテントサイトを整備したことで1日の利用者の増加を図れた。今後は茨城県自然環境整備交付金事業交付金を活用しながら、モンベル社監修の筑波山の登山基地として再整備を行い更なる誘客を促進していく。																			
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果																			
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																			
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策 開業から50年を経過している施設のため、老朽化している施設が多い状況にある。 老朽化している施設を解体し、モンベル社監修のキャンプ場として再整備を行い、誘客促進を目指していく。		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		成果	向上	コスト			削減	維持	増加	維持		○			低下				
成果	向上	コスト																			
		削減	維持	増加																	
維持		○																			
低下																					
(6) 事務事業優先度評価結果		成果優先度評価結果 ②																			

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A: 継続 (現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続 (改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input checked="" type="checkbox"/> 確認